健幸都市実現に向けたイノベータ育成プログラム

ウエルネスマネージメント研修会のご案内

核【コア】となる人材とは・・

- **地域や職域において、その実情や特性を考慮し、課題解決に寄与する健康増進策を企画できる**
- **健康増進事業・介護予防事業を多角的に評価し、修正・推進できる**
- **科学的根拠に基づく健康施策を立案できる**

＜ウエルネスマネージメント研修会の趣旨＞

- 地域の健幸都市づくりの社会変革の担い手として、総合的に人と都市の健康課題を認識し、これまでの縦割り的な発想のみならず、課題解決能力を身に着け、社会の変革＝イノベーションへと結びつける人材の育成を行います。
- 具体的には、自ら地域課題解決のプロジェクトをデザインかつマネジメントする能力を磨き上げ、スマートウエルネスシティの実現に向けて、多様な住民が自然と健幸になれる「まちづくり」、そして成果重視の健康サービスを推進できるプロジェクトの立案力・推進力、調整能力を高めます。

主な参加者

- 自治体において健幸まちづくり施策の企画調整業務を行う行政職の方、健康増進事業・介護予防事業に従事されている専門職
- 介護関連事業者・健康保険組合・スポーツクラブ等で健康増進事業および介護予防事業に従事されている方
- 企業において健康増進に関する業務に従事されている方、新規ビジネスの企画担当の方（製品開発・マーケティング等）
- そのほか、地域健康増進事業に興味をお持ちの方

＜養成する能力：課題発見力、事業創造力、PDCAマネジメント力＞

研修テーマ	研修により習得する能力
動機づけ（認知・理解）	必要な知識・技術の習得、地域の課題を体系的に捉え直す
自己課題の認識	社会課題の解決に求められる能力の現状認識が出来、自己課題を自覚できる
組織課題の認識	自組織の課題を認識し、組織横断的及び産官学等で連携する能力を強化する
先駆事例からの学びと発展	知識、実践、場の知見をトータルに関連付けて施策及びプロジェクトを具体化するプロセスを学ぶ
実務者としての能力強化	実務者としての課題発見力、事業創造力、PDCAマネジメント力、ヘルスリテラシー、インフルエンサー能力を高め、健幸都市プロジェクの即戦力として活躍できる能力を身につける
科学的根拠に基づいた事業提案	プロジェクトの推進状況を適切な方法で評価でき、それから得られたデータから、プロジェクトの改善点を見出す能力を身につける

＜カリキュラム概要＞ ※2021年度実施事例

	講座タイトル	内容	講師	
講義	人生100年時代に求められる人材像	急速な超高齢化の加速と人生100年の世界最長寿国の日本社会で先端に立つ社会イノベータとしてのウエルネスマネージャーに求められる人材像を理解する	久野譜也	筑波大学 体育系 教授 博士(医学)
	自然と健幸になれるまちづくりSmart Wellness City①～④	超少子高齢社会の健康課題とその課題解決のための「科学的根拠に基づいたそこに暮らすだけで健幸になれる先駆的なまちづくりSmart Wellness City」の考え方や取り組み事例、取り組みを進めるための制度の壁やそれを乗り越えるコツ、国の政策の方向性を学ぶ	久野譜也	筑波大学 体育系 教授 博士(医学)
	健幸都市構築のためのイノベータに求められる資質	社会イノベーションを創造するための思考と資質を学ぶ	塚尾晶子	つくばウエルネスリサーチ 取締役 博士(スポーツウエルネス学) 保健師
	超少子高齢社会における健康課題【生活習慣病予防】	生活習慣病についてとその予防対策の最新情報を学ぶ	前田清司	早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授・博士(体育科学)
	超少子高齢社会における健康課題【介護予防】	介護につながる要因とその予防対策の最新情報を学ぶ	田邉　解	筑波大学 体育系 准教授 博士(体育科学)
	超少子高齢社会における健康課題【メンタルヘルス】	健康長寿に影響を及ぼす社会的要因とそれがメンタルヘルスやウエルビーイングに及ぼす影響とその対策の最新情報を学ぶ	辻　大士	筑波大学 体育系　助教 博士(体育科学)
	超少子高齢社会における健康課題【母子保健】	母子保健における健康課題と対策の最新情報を学ぶ	松島みどり	筑波大学 人文社会系 准教授 博士(国際政策)
	超少子高齢社会における健康課題【食事】	疾病予防、健康増進のための栄養学の最新情報を学ぶ	菅　洋子	関東学院大学 栄養学部 管理栄養学科 准教授 博士(スポーツ医学)
	個人の特性に応じた運動プログラム作成のための体力評価	個別運動プログラム作成のための評価方法を学ぶ	鶴園卓也	つくばウエルネスリサーチ SWC推進部
	住民協働のまちづくり	健康づくり無関心層対策としての、インフルエンサー戦略やコミュニティ再編(ソーシャルキャピタル)の重要性を学ぶ	塚尾晶子	つくばウエルネスリサーチ 取締役 博士(スポーツウエルネス学) 保健師
	スポーツを基軸とした地方創生	スポーツを通じたまちづくり・地方創生について学ぶ	松田裕雄	筑波大学　国際産学連携本部 客員准教授
	カラダを調えるためのスポーツ運動療法―コンディショニングー	スポーツ運動療法の観点から体を調えるためのコンディショニングの重要性を学ぶ	鈴木　岳	R-body project CEO 博士（スポーツ医学）
	健康データ分析に必要な統計学	統計学を用いた健康データの分析を学ぶ	田邉　解	筑波大学 体育系 准教授 博士(体育科学)
	データヘルスと健康づくり事業 ーその時地域が動いたー ① ②	地域の健康課題解決に向け、費用対効果や効率化を考えたPDCAマネジメントを効果的に回し施策実現までのプロセスにおける対策を学ぶ	土屋厚子	元・静岡県 健康福祉部　理事 保健師
演習	データに基づく運動プログラムの指導法	データに基づく効果的な運動プログラムの指導方法を学ぶ	鶴園卓也	つくばウエルネスリサーチ SWC推進部
	ファシリテート・ディベートの基礎・実践	ディベートの基礎を学び、地域社会の社会時事トピックスに対するディベートを実践する	塚尾晶子	つくばウエルネスリサーチ 取締役 博士(スポーツウエルネス学) 保健師
	人にも伝わるプレゼンテーション方法	人に伝わる"効果的"なパワーポイントのプレゼンテクニックを学ぶ	久野譜也	筑波大学 体育系 教授 博士(医学)
			塚尾晶子	つくばウエルネスリサーチ 取締役 博士(スポーツウエルネス学) 保健師
	企画書作成・プレゼンテーションの実践・発表	地域社会の課題解決のための論理的思考に基づいた心を動かす企画書の作成とプレゼンテーションのコツを学び、実践する	久野譜也	筑波大学 体育系 教授 博士(医学)
			塚尾晶子	つくばウエルネスリサーチ 取締役 博士(スポーツウエルネス学) 保健師

＜参加者からの声＞

新しい考え方や、創造の大切さとともに、論理的な思考と、論理性をもって表現すること、多面的に物事をとらえられることの大切さを感じた。それがいかに難しいことも身をもって体感した。
学びになる研修会とはこれだと思いました。一方的ではなく、私たちの頭で考える、自分の体を動かすことで感じることが多く良かったです。
まずは、PDCA、KGI、KPIなど新しく学んだ事を現場に生かしたい。今まで行なって来た業務、これから始めるどんな小さな事業であっても、目的、目標、を設定し、結果を分析、評価、次の行動へフィードバック、当たり前に行うべき事を当たり前に行う事から始めて行きたい。
自治体や民間の方々と共にグループワークをするという経験を経て、様々な刺激を受けました。

＜研修会日程＞

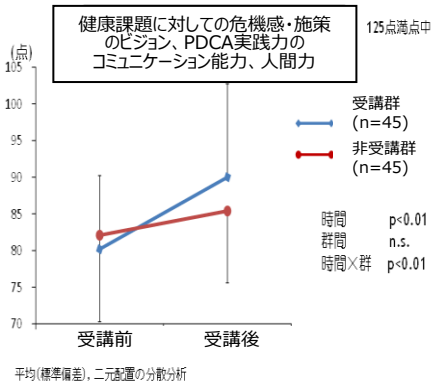
研修会は集合研修で開催します【全10日間】

1期： 2022年 9月25日- 9月30日（5泊6日）
2期： 2022年11月7日-11月10日（3泊4日）

会場 ：千葉県柏市 柏の葉ｷｬﾝﾊﾟｽKOIL 6Fｻﾛﾝ(予定)

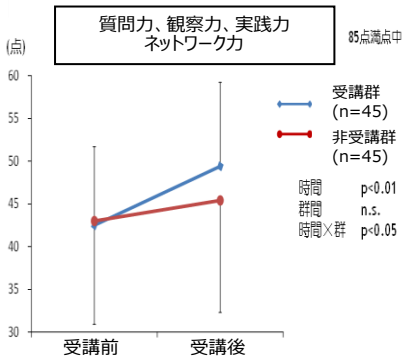
研修受講による効果

PDCA実践力



平均(標準偏差), 二元配置の分散分析

イノベータ力



平均(標準偏差), 二元配置の分散分析

＜受講料・申し込み方法＞

■受 講 料
３３０,０００円（税込）
※1期・2期を通じて
※テキスト代込み
宿泊費は別途

＊認定者には認定証を授与

■申込方法
下記メールアドレスに「WM研修申込」の旨ご記載頂きご連絡ください。申込書を返信いたします。

【E-mail】ｉｎｆｏ＠ｔｗｒ．ｊｐ

＜ウエルネスマネージャー資格の取得について＞

本研修会の全講座を修了された方は、ウエルネスマネージャー資格の認定試験を行い、合格者にはウエルネスマネージャー資格を付与します。有資格者には、随時、健康増進・介護予防に関する最新情報をメールマガジンにより提供しています。

＜お問い合せ先＞

株式会社 つくばウエルネスリサーチ

〒277-8519　千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパス148街区2 KOIL505
Tel: 04-7197-2360 Fax: 04-7197-2361
URL：http://www.twr.jp　E-mail：info@twr.jp　担当：鶴園

TWR つくばウエルネスリサーチ